



<軽作業・自主製品の作成>

ハイドロカルチャーや牛乳パック椅子などの自主製品の製作や市内などの工場からいただいている内職作業を活動として行っています。利用者が製作した自主製品は、愛厚弥富の里のロビーで販売していますので、ご利用ください。



販売時にはのぼりが立っています！

<農作業>

施設内には、広い農場があります。季節に応じた野菜を育てており、市場や飲食店に卸したり、愛厚弥富の里内のロビーで販売もしています。利用者の方が愛情をかけて作った野菜を、ぜひ一度、ご賞味ください。

イベント(活動)



(ふれあい秋まつりの様子)



(櫻華太鼓の皆さんと一緒に太鼓を叩こう！)

<ふれあい秋まつり>

年に一度のビッグイベントとして、9月に「ふれあい秋まつり」が開催されます。たくさんの模擬店やステージ発表があり、地域のボランティアの方も参加されています。櫻華太鼓さん、ヤトミウィンドアンサンブルさん、はつらつ会の皆さんとさんちゃん体操などなど、楽しいイベントが盛りだくさんです。今年は9月27日(日)に開催します。ぜひ、市民の皆さんも一度遊びに行かれてはいかがでしょうか♪



いい天気
気持ち
いいな～

(散歩を楽しむ利用者の皆さん)

<はつらつ会さんと散歩>

毎週木曜日、はつらつ会さんに来ていただき、利用者の皆さんとお散歩を楽しんでいます。



小出貴嗣さん

期待の星にインタビュー！

学生時代には、保育を2年間学び1年間介護を専攻し、昨年の4月から弥富の里で働いています。利用者の方と毎日関わる中で、学生時代には学ぶことのできなかった現場での臨機応変な対応と共に常に問題意識を持ち、支援の向上に取り組んでいます。その中で利用者の方々と市内の大型ショッピングセンターに買い物に出かけることがあります。利用者の方々もとても楽しみにされていて、施設とはまた違った表情を見せてくれます。施設の中だけではなく、地域の方々とも触れ合えるような活動を増やしていければと思っています。



投稿!!

こんな○○あったがね～♪♪

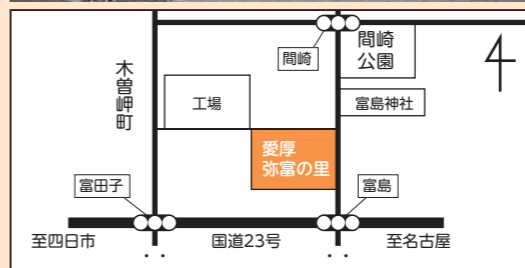
増刊号

毎月まちの話題にて好評連載中の「投稿!!こんな○○あったがね～♪♪」ですが、今月は、弥富市役所福祉課からの投稿を掲載いたします。



障がいのある方が活動している施設があったがね

市民の皆さん、こんにちは♪
日頃は、市福祉行政にご理解・ご協力をいただきましてありがとうございます。
さて、今月は、障がいのある方が利用している市内の施設や活動をレポートいたします。取材協力をしていただいた『愛厚弥富の里』さんありがとうございました。



- ★事業所名 愛厚弥富の里(愛知県厚生事業団)
- ★所在地 弥富市栄南町7-2
- ★電話 68-4322

<施設の紹介>

愛厚弥富の里は、定員80名の入所施設のほか、就労継続支援B型事業所やグループホームなどを運営しています。利用者の方にとって充実した毎日を送っていただけるように、また将来的に地域生活を実現できるよう取り組んでいます。
また、市より相談支援事業(知的・身体障がい)の委託を受けております。福祉制度、障がい福祉サービスなどの相談も受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

? 疑問その1

就労継続支援B型事業所ってなに？

通常の事業所に雇用されることが困難な方に、生産活動などの機会の提供、その他の就労に必要な知識および能力の向上のための必要な訓練、支援を行います。

? 疑問その2

グループホーム(共同生活援助)ってなに？

アパート・マンション・一戸建てなどにおいて、数人の障がい者が一定の経済的負担をおって共同で生活する住居です。同居あるいは近隣に居住している世話人により、食事の提供、相談および入浴その他の日常生活上の支援を行っています。



(取材の様子)

ここからは、施設での行事、就労継続支援B型事業所やグループホームで行われている活動内容の一部を紹介いたしますね！

普段の生活



(生活の場であるグループホームの一室)

<グループホーム>

グループホームでは、一つの家に利用者の方が5~6名入居されており、地域で生活をされています。皆さん、ここから毎日仕事(B型事業所など)に出かけられています。